科学研究費助成事業 研究成果報告書



平成 26 年 5 月 1 日現在

機関番号: 13902 研究種目: 基盤研究(C) 研究期間: 2011~2013 課題番号: 23531002

研究課題名(和文)中津川興風学校の学校衛生史 - 明治維新期の社会基盤づくりから近代制度への系譜 -

研究課題名(英文) School Hygiene History of Nakatsugawa-Kohfu Elementary school in Meiji Era

研究代表者

高橋 裕子 (Yuko, Takahashi)

愛知教育大学・教育学部・教授

研究者番号:30206859

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 1,600,000円、(間接経費) 480,000円

研究成果の概要(和文):明治政府の文部省は、明治5に学制を公布し、近代学校制度をスタートさせ、明治30年代になると、学校衛生関係の法規を策定・公布し、主要な学校衛生制度を整備した。本研究では、従来の学校衛生制度史研究に対して、学制をうけて地域の人々が率先した学校づくりの文脈で学校衛生史をとらえ、学校現場の学校衛生活動の実態と思想を明らかにした。具体的には、(1)岐阜県の中津川興風学校を事例とし、学校衛生の国家制度が明治政府によって確立される明治30年代以前、同校ではどのような学校衛生活動を行っていたが、また、(2)国家制度以後、彼らはどのようにそれを導入し実行したのかについて、同校の学校日誌を主史料として検討した。

研究成果の概要(英文): The Ministry of Education in the Meiji government started new educational system c alled Gakusei in 1872.And around 1900,they also established main school hygiene systems.

In this research I made some aspects of reality of school hygiene activity clear and to delve into intell ectual history of school hygiene in local schools, against the history of the policy of Meiji government. What school hygiene activities had been undertaken in local primary schools, before the national system of school hygiene? After establishment of the national system, how did they introduce the system and put it into practice? I examined the abovementioned subjects through analyzing the school diaries of Nakatsugawa Kohfu Elementary School in Gifu prefecture. This School was established by local founders under the Gakus ei in the early Meiji period.

I concluded the Japanese school hygiene had been developed not only by the policy of the Meiji government but also by the requests from each local school.

研究分野: 社会科学

科研費の分科・細目: 教育学

キーワード: 学校衛生史 中津川地域 明治期

1.研究開始当初の背景

-近代学校衛生史の定説と課題-

明治新政府は近代化への重要課題として 国民の教育水準の向上を位置づけ、近代学 校教育制度を開始した。学校衛生制度はそ の一環といってよい。同制度は明治24年、 文部省が三島通良(1866 1925年、医博) に全国各地の学校調査を委嘱したことに始 まる。同 29 年、学校衛生顧問会議の審議 を経て、30年代に学校医制度を含め学校衛 生に関する法令の骨格ができた(定説)。一 方、このような国家による制度以前より、 全国各地では、その学校づくりの中に、独 自の学校衛生に類する活動・思想があった のではないかと考えられる。また、地域の 政治・経済・文化的背景を視座にいれた制 度移入の詳細についても不明の点は多く、 事例的研究によって解明すべき課題である。

2.研究の目的

本研究では、岐阜県中津川興風学校を事例として取り上げる。同校は近代学校教育制度に先駆け、中津川の平田国学門人らを含む知識人が結社を作り、義校方式によって創始した学校である。これまでも中津川地域は、明治維新研究の領域から注目されてきた¹⁾。また同校は、教育史研究の領域から、初期・近代学校制度の地方への定着過程²⁾や民衆による公教育組織化³⁾の視点から研究され、平田国学ともに自由民権運動のひとつの舞台ともなった点⁴⁾⁵⁾からも注目されてきた。

ところで、同校の創始者らは、その後も学校管理者・教員に成り代わって、明治期全般に渡って学校の管理・教育に携わったのであ

るが、「中津川興風学校日誌」は彼ら日々記録した学校管理日誌であり、幸い、現在に至るまでのほぼ全ての日誌が残存している。本研究ではこれを主史料とし、同校で行われていた学校衛生に関する活動の実態をとらえ、教育と衛生・子どもの健康保護責任・学校自治などを鍵概念として彼らの学校衛生観をとらえる。そして、教員らの学問基盤を明らかにしながら社会思想史的な考察を加え、中津川知識人が抱いていた維新期からの学校構想の文脈による新しい学校衛生史を素描することを本研究の目的とする。具体的には次の2点を明らかにする。

- (1)政府が主導した明治 30 年代の学校衛生制度(明治 30 年代)以前の、中津川興風学校独自の学校衛生活動とその思想
- (2)中津川における学校衛生制度の移入(学校医制度をどのように運用していたか)

3.研究の方法

次の史料を収集し、「2.研究の目的」に 述べた観点から読解・分析を行う。

主な史料	所蔵場所
1)学校日誌	中津川市立中津
2)学校沿革史	川南小学校
3)開業願書4種 他	
3)市岡文書「竹烟雑記」「丁々園雑記」	中津川市中山道
4)学校設立有志者らの履歴	歴史資料館
5)「小学義校設立調書」(開業願書)	

4.研究成果

(1)主な成果

3 年間の研究成果を総括し、本研究の目的に記したように、地域の人々による近代学校づくりの文脈で、地域学校衛生史という新しい学校衛生史を構想し、次のように、三部・六章からなる『明治期地域学校衛生史研究』を著した(全 320 頁)。

1)宮地正人『幕末維新期の社会的政治史研究』岩波書店、1999

序章 課題と方法

²⁾仲新『明治初期の教育政策と地方への定着』講談社、1962年

³⁾ 梅村佳代「豪農民権地域にける民衆の公教育組織化運動について」『季刊教育運動研究』創刊号、1976 他4) 梅村前掲書、

⁵⁾三羽光彦「岐阜県中津川における自由民権と教育」 『地域経済』第5集、1985

- 第一部 学校構想と初期の学校衛生活動 学校創設(明治6年)から明治12年 第一章 中津川興風学校の学校構想 第二章 明治初期における小学校の病気欠 席の問題
- 第二部 地域と教師たちの学校衛生活動 明治 12 年から明治 24 年
 - 第一章 明治 12 年のコレラ流行にたいする 中津川興風学校の「閉校」措置
 - 第二章 中津川興風学校と岐阜県私立衛生 会の接点

地方私立衛生会の活動と学校衛生

- 第三部 明治政府の学校衛生政策と学校現場 明治 24 年以降
 - 第一章 明治政府の学校医制度 三宅秀と三島通良の比較
 - 第二章 中津川興風学校の学校医の活動と その意義

結章

この目次に沿って本研究の成果を概説す ると、学校衛生制度が明治 30 年代に制定さ れる以前から、興風学校学校の創始者ら(学 校管理者・教員)は、病気欠席【第一部第一 章】伝染病予防と学習保障【第二部第一章】 地域との衛生組織活動など【第二部第二章】 現実の課題に直面しながら独自の取り組み を行っていた。また、学校衛生制度制定後も、 たとえば、明治 31 年に明治政府が主導した 学校医制度【第三部第一章】に対して、明治 15 年度前後には自由民権家として活動した こともある同校の初代学校医は、学校医制度 の意図していた職務を超えてトラホーム治 療を行っていて【第三部第二章】 興風学校 では、政府による学校医制度を主体的に取り 入れていた。もともとこの興風学校は、学制 に先駆けて作られた時習館という学校を起 源とし、学制発布直後に、中津川地域の知識 人らが学制の示す教員人材・教育内容に沿う よう改編し、改めて認可を受けて創設された

学校であった【第一部第一章】。同校で行われていた学校衛生活動の実態、学校衛生の着眼・発想もそれと同様に地域先導であった。これは幕末期に平田門人として培われた先見性と地域の独自性への志向が反映されているのではないかという本研究の仮説を支持する結果であった。

- (2)成果の国内外での位置付けとインパクト 学校衛生史研究での位置付け
- 「1.研究開始当初の背景」に示したように、これまでの学校衛生史研究においては、明治政府が主導した学校衛生の制度史が明らかにされてきたが、それに対して、本研究の成果は、学校限場を軸とする地域学校衛生史を新提案するものと考えられる。

日本教育史研究での位置付け

「2.研究の目的」に示したように、中津川 興風学校は、主に、「民衆による公教育組織 化」という観点から注目されてきたが、本研 究の成果は、このような教育史研究の領域に、 学校衛生史という新しいジャンルを提案す るものと考えられる。

現代の学校における教育課題への貢献

本研究は、明治期、学校では、病気で欠席する子どもや、コレラ、トラホームなどの伝染病が学校で流行する事態に、教師や学校管理者どのような営みを行ってきたのか、また、地域と学校は衛生組織の点でどのような繋がりがあったのかを、原理的な研究でなく一つの小学校を事例に実証的に明らかにした。翻って現代の学校教育の問題を見てみると、いじめ、軽度発達障害、メンタルヘルス、病弱児やアレルギーを持つ子どもの生活・学習支援などが取り上げられていて深刻である。このような教育界の難問については、学校保健・学校衛生という学校での子どもの健康管理・健康教育を担う領域では、これまでも、

子どもの健康問題としていち早くとりあげ、 長期的に取り組んできた。本研究は、このような教育と健康の問題を包括的にとらえる 諸営為の源流を知らせる意味で、現代の教育 関係者の関心に応えるものと考えられる。

国際的な位置付け

近代日本の学校衛生の考え方は、ドイツから移入されたという経緯をもつが、本研究は、1900年前後のデュッセルドルフの学校衛生史に詳しい研究者から関心をもたれ、今後、研究交流することを予定している。これを発端として、学校における子どもの健康教育・健康推進という社会的・国家的事業について、国際的に検討を深めあうことが期待できる。

(3)今後の展望

出版による社会発信

「4.研究の成果」に示した『明治期地域 学校衛生史研究』は、今後、学術書として出 版し、社会発信する予定である(平成 26 年 度科研費助成事業研究成果公開推進費(学術 図書)に応募・内定)。

学校衛生の学説史研究への展開

本研究の成果を踏まえて、今後は大正期・昭和期に視点を進め、大正自由主義教育や国民国家形成論など、日本における教育学説史の文脈で学校衛生史をとらえ直してみたい。この試みはすでに開始し、一部を論文・学会発表において報告した。

5. 主な発表論文等

[雑誌論文](計 5件)

高橋裕子「明治期の学校医論に関する検討 一三宅秀と三島通良の学校医論の分析」『学校保健研究』掲載予定、2014年、査読有 高橋裕子「大西永次郎の初期学校衛生論 教育的学校衛生論以前の問題」『愛知教育 大学研究報告人社会科学編』第63輯、2014 月3月、125-133頁、査読有

高橋裕子「大西永次郎の健康教育論 — 大西の『衛生訓練の実際』とターナーの『健康教育原論』の検討 —」『保健体育講座研究紀要』第38輯、2014月3月、33-51頁、 査読有

高橋裕子「明治政府の学校衛生政策と学校 現場中津川興風学校の学校医活動 - 」『日本 教育保健学会年報』第20号、2013年3月、 39-61頁、 査読有

高橋裕子「中津川興風学校の学校構想」『愛知教育大学研究報告人文社会科学編』第61輯、2012年3月、63-72頁、査読有

[学会発表](計 7件)

高橋裕子「学校衛生史に関する検討(3) - 昭和13・14年前後における大西永次郎の学校衛生論の変容 —」第11回日本教育保健学会、2014年3月22-23日、山口大学高橋裕子「学校衛生史に関する検討(2)-大西永次郎の健康教育論-」第60回日本学校保健学会、2013年11月16-17日、聖心女子大学

高橋裕子「学校衛生史に関する検討(1) -大西永次郎の教育的学校衛生論成立以前の問題-」第56回東海学校保健学会、2013年9月7日、愛知教育大学

高橋裕子「明治期の学校医に関する検討 ― 三宅秀と三島通良の学校医論 - 」総合社会科学会第 15 回総会・研究大会、2013 年 6 月 16 日、昭和女子大学

高橋裕子「地域の学校衛生史に関する検討 (4)-三島通良と三宅秀の学校医論-」第 59回学校保健学会、2012年11月10-11日、 神戸国際会議場

高橋裕子「地域の学校衛生史に関する検討(3)-日本の学校医制度の成立期の問題-」第9回日本教育保健学会、2012年3月30日、東北福祉大学

高橋裕子「地域の学校衛生史に関する検討

(2)-地方の私立衛生会における学校衛生-」 第 58 回日本学校保健学会、2011 年 11 月 12-13 日、名古屋大学

〔図書〕(計 1件)

高橋裕子『明治期地域学校衛生史研究』学 術出版会、2014年11月、320頁、印刷中。

6.研究組織

(1)研究代表者

高橋 裕子 (TAKAHASHI, Yuko) 愛知教育大学・教育学部・教授

研究者番号:30206859